

## ●くらし・仕事についてうかがいます

### くらし・仕事について心配なこと、困っていることなどお聞かせください

- ・箸の持てない大人が増えている。外人より下手。(70代男性)
- ・転職時の学歴年令制限を米国のように廃止してほしい。(40代男性)
- ・カードローンもやむなく利用していますが、給料が大きく下がる経済状況の中、6月からの大きな制限は更に生活を苦しくする。
- ・私のバイト先、社員1名(現場責任者)に対し他は全員アルバイト。それもほとんど学生。低賃金でほとんど休憩なしで動き回っています。社員は手伝わず寝ています。その社員も会社から月給貰っているのに何もせず、客からのクレーム対応もバイト。これは他区なので、愚痴ですが、区の公共施設なので言った方がいいですよ。でもどこへ行けばいいのやら……。 (30代女性)
- ・家賃に困る。都営など申し込んでいるが当たらない。本当に困っている人のために方策はないものか。生活保護を受ける前に対応してほしい。(保護を受けるべき人優先であるべきだと思う)住まいを失えば働くことやむなし。(女性)
- ・低所得者の住民税率を引き上げたために国民健康保険料が倍増した。元の状態に戻してほしい。(男性)
- ・本気で働こうと思えば必ず仕事はあります。若い人も手に職が無くて、だらだらと学生時代をすごし、自分の足元に危険が及ぶと、そのときあわてている。(女性)
- ・生活保護を受けている立場として、1つ違和感を感じていることとして、ケースワーカーのアポなし訪問について、たまたまワーカーが訪問したときに家にいず、「なかなか会えませんか」と嫌味を言われた。どこの世界に勝手にアポなしで来て文句を言う者がいるのか。あえてアポなしで来ると思われるのか、文句を言われる筋合いがない。(男性)
- ・体調不安定にてパートもできない。介護も一部はお金を支払わなければ利用できない。介護を頼んでパートしても暮らしは良くなる。貯蓄がなくなった時やはり死ぬしかないのかなと……。 (40代女性)
- ・パートなので年々休日が多くなり、その分収入が減るのでシルバーウィークなんて喜んでられない。(60代女性)
- ・最近『弱者』を守るべきとの声が高まっているが、中には今までの努力を怠ってきただけの『弱者』も含まれているのに、現状だけを見て、一律に救う必要があるのか疑問におもう。『勝ち組』と呼ばれる人には人並み以上の努力を重ねてきた人も多いのに、その人たちの努力の結果を『弱者』に吸い取られては国民全体のモチベーション低下に繋がるのでは?(30代女性)
- ・現業の公務員をしているが、職場が減らされ、民間要渾化され、現業いじめをされている。とても不安だ。(40代女性)
- ・家の住宅ローンと税金で苦しんでいます。固定資産税と区民税、介護保険料、健康保険(国

保)。日雇いの仕事で祭日が多い時は休みなのでこれ以上祭日ができないことを望みます。お金のある人は嬉しいでしょうが、我が家は大変!こういう人たちは結構多いようです。(女性)

・日雇いだからと2ヶ月毎更新しており、今現在社員並みに11年間以上同じ雇用先で働いていますが有給が全くないのが不服です。

・年をとって介護が必要になったときのことが心配。(70代)

・働ける気力・体力はあるが、求人の数が絶対少ない。(60代男性)

・派遣に対して人的な扱いをしない企業・社員(精神レベルの低下、企業文化の低迷)。相変わらず派遣切りは続いています。

・隣の社員が鼻をほじった手で私のマウスを平気で触る。派遣会社の担当者に相談しても改善しないし、その会社の相談ダイヤルに電話してもなにも変わらない。(40代男性)

・長年金属加工の仕事をしてきましたが、09年3月で解雇になりました。ハローワーク通いも仕事がない。困っています。(男性)

・国民年金が高すぎて払えない。社会保障が何もない。失業給付金もなければスキルも学べない。(女性)

・生活のレベルを収入に応じて低くすれば良いのですが、すぐ安い家賃のところに引っ越すのは難しく、本当に年をとると共に生活苦を感じている今日このごろです。(女性)

・体調不良者が多い。定時の時間に帰れない。人がいない。(10代)

・何事もなければ何とか生活できるが、家族が病気になった場合や、地震や火災等が発生した場合に不安を感じる。(男性)

・40代以上の正社員の仕事がない。募集は年齢制限をなくしたおかげで受け入れてくれないところまで募集しているのかわからず、100件以上出しても見つからない人が多いと聞く。中高年の仕事を増やしてほしい。都の募集も30代までだった。(40代)

・求職活動をしているときに年齢不問とあっても40歳以上だと面接さえも受けられなかった。正社員となればなおのこと、労働条件が悪くてもガマンするしかない現状が不安。(40代女性)

・仕事など年齢とか言って使ってもらえない。本当の話。(女性)

・一人なので、病気と不慮の事故等にあったときの件。(60代男性)

・自分達で自由に使えるお金が残りません。(40代女性)

・年金では生活していけない。助けて!(60代女性)

・福祉の仕事をしていますが、国での教育システムがないことは嘆かわしい。福祉の理念が乏しい人間に入職してほしくない。

・海外で長く暮らしたため、日本の年金の最低加入機関25年を払うのが難しい。日本の会社では年齢差別が激しく、仕事を見つけるのが難しい。特に女性の仕事は(求人)はキャリアのない人向けの補助的なものが多く、長く続けられるものが少ない。(40代女性)

・生活ができなくなっている。(男性)

- ・今は元気だからいいけれど、このままでは経済的にも健康面でも非常に不安です。(20 代女性)
- ・大手企業に勤務しているが、いつ会社が倒産するかわからず不安。今年度からボーナス 0 で貯金不可。(20 代女性)
- ・60 歳で退職した後、年金が少ないので(中途採用)で食べていけない。(60 代女性)
- ・もう少し仕事を増やしてほしい。(40 代)
- ・内定切りや新人をリストラする等就労状態が悪く不安。(20 代男性)
- ・仕事があっても自分の体がついて行けるか心配。(女性)
- ・子どもの大学の学費が辛いです。母子家庭だし奨学金では足りない。でも一応、普通に暮らしていています。一生賃貸で暮らしていくのかと思うと少し不安ですが……大したことではないですネ。(女性)
- ・アート方面の仕事をしているがカルチャーの縮小や売り上げの低迷で自分自身の資金が無くなった。(60 代女性)
- ・国民年金の支給額が低すぎて老後が心配です。(60 代女性)
- ・一人暮らしの人で手仕事があれば喜ばれると思います。(80 代以上女性)
- ・両親の介護を 28 歳のときからやっています。それでうつ病になり精神科に入院もしました。区役所に何度も話しましたが、取り合ってくれませんでした。今は 37 才になり、精神科の医者が区役所を呼び出し、生活保護になりましたが、親の年金の生活保護の金額と変わらないので、金銭的な物は受けていません。1 ヶ月 20 万円で 3 人の生活です。
- ・今のところ何とか食べていくことはできておりますが、人間としての「うるおい」のある職場は今、大変少ないのではないのでしょうか。高度経済成長期の努力神話は私たちの世代の中にわずかに残っているだけで、若い世代の人たちは、はるか昔の「丁稚奉公」のような忍従を強いられています。働くことは、そういうことだとしか教えられていないように思えます。怒りを覚えています。
- ・仕事を变えたいと思っているのですが、区でも求人情報など公開しているのでしょうか?(30 代女性)
- ・老後、病気、介護、介護保険、国民保険料の負担が重い。(60 代男性)
- ・住居費が高い。医療検査費が高い(CT、男性 RI、骨シンチ薬)。(70 代女性)
- ・固定資産税、区民・都民税、国民健康保険料、介護保険料で年金 1 回分がなくなってしまう。この上消費税アップ等、ただ生きるだけの生活になってしまう。(男性)
- ・仕事がなく失業と同じ、もっと仕事をしたい!!と思っています。(50 代女性)
- ・年金がもらえるのか。(40 代女性)
- ・区民税が高くなりすぎる。何に使用したか、誰でもわかるようにしてほしい。
- ・これから年令をとって、収入が無くなる、病気がちになる。いったいどうなるんだろう? という気持ちが強くなる。(男性)
- ・会社に仕事が無くて遊んでいます。ホームレスも明日は我が身!マンションのローンが重い

です。(女性)

- ・1人の募集に対し、40～50人の応募があり、なかなか採用されず困っている。(40代女性)
- ・①医療費で、検査費など高くて困る、特に歯科関係など。②食費、洗剤などを減らしても(公共料金の節約をしても)野菜と果物の不足になる。十分な栄養がほしい。(女性)
- ・仕事がない。(女性)
- ・年齢制限により仕事できません。生活が苦しいです。(60代男性)
- ・ハローワークに子どもを連れて行くことができないので何とかしていただきたい。出産後に仕事を始める場合、区立には預けられず、働いているという書類が必要。仕事をするために、私立の保育園(月8万など)に預けなければならず難しい。(20代女性)
- ・労働基準法を守っている会社が私の職歴10社でも無かった。そのことで労基や労働局に言っても真剣に取り合わないこと、数日働いても賃金未払いの会社もあるし、労働基準局もあまり動いてくれない。(50代男性)
- ・年金額が以前に比べて少なくなっており逆に介護保険、健康保険料は毎年上昇している。将来が不安。(70代男性)
- ・先進国の中で日本が一番、大手企業のホワイトカラー従業員の生産性が悪いので、ホワイトカラーの部署をターゲットに、法人税の重税化を実施する。その財源を失業者へ当てるべき。(30代男性)
- ・ベースアップがない。社会保険料が毎年UPするので手取りは少しずつ減。(40代)
- ・本当に苦しい、死にたい。政治家ばかりいい生活しすぎ。国のために仕事して何故ボーナスまでもらうのかがわからない。(30代男性)
- ・生活保護を受けておりますので、何とか暮らしていかれるので、感謝しております、ただし冠婚葬祭等、昔からの義理を是すことができず悲しい思いをしております。(女性)
- ・日本人の意識が変わらない。経済的に没落していく日本なのに、今までどおりの暮らしを求めるのは矛盾している。身の丈にあった暮らしを提案すべきだ。特に団塊の世代は自己中心的な考え方を見直すべきだ。(男性)
- ・悪質企業の求人对策にもっと力を入れてほしい。(30代男性)
- ・住居が民間住宅なので家賃が高い、公共(都営住宅等)住宅の増設をお願いしたいと同時に入居しやすい条件や環境づくりをお願いしたい。(60代男性)
- ・年金生活。(男性)
- ・引っ越してきたばかりなのでこの町について何も知らない。(30代男性)
- ・民間企業に委託されている「すまいるスクール」が契約更新時に入札から締め出され、次契約できない。トップダウンの圧力を感じる。何事もつちかって育てた子ども中心の風土を認めないで全職員変えるのは、失職して困ることはもちろんだが、子ども達の不安感をもたらすと思う。(60代女性)
- ・消費税を上げるのではなく、贅沢品に課税する給物品税を導入すべきである。(60代)
- ・ほとんど昇給もなく、先行きが不安。消費税を減税する必要はない(節税しやすいため)。

そのかわり、所得税を減税してほしい。高所得者の税率を上げ、多くのサラリーマン世帯に対して減税すべき。(30代男性)

・扶養控除廃止による増税の心配、就職難、保険料(国保、国民年金の値上がり)。(30代女性)

・パートでも働けるうちは働くのがいいこと。それが今できているので不満はない。だから健康が頼り。(60代女性)

・娘が10月に助成金申請のため一時帰休。一ヵ月後に転職を勧められ12月には解雇となり会社の対応に疑問を感じました。私どもには税金を投入し、雇用を守る助成金制度と思っていましたが会社の資本をむさぼる制度になっているのではと、助成金が出た後に行政のチェックは何かやっているのでしょうか?(60代女性)

・失業扱いにならず、実質の失業。給与の支払はない。会社ももう危ないでしょう。先がわからず生活が毎日不安。(男性)

・ニュース等で会社が倒産して生活に困窮している方が大勢いて、人事ではありません。世の中が不景気のために、それに便乗して、引ったくりや空き巣等が頻繁に起こり、世の中を暗くしています。どうか明るい社会になるように切に願います。昔のように会社が繁栄して安心して暮せるように望みます。

・正社員として働くことは求職をしても難しかったために契約社員になっています。アルバイト料をプラスして何とかやっています。(男性)

・国民年金額が生活保護費よりも少ないのはどうしてでしょうか。生活保護を受ける人たちは住居費も多少援助され、その他医療費等は無料のようだし、年金を受けるものたちはお金を払ってきたのに、年金額の方が少なくその他すべてを自分の年金でまかなわなければなりません。大変不合理です、何とかならないでしょうか。(男性)

・残業が60時間に制限されている。これ以上はつけられない。更に、「給料に残業代が30分入っている」と言われて実際に残業代がつくのが10~15時間程。(40代男性)

・60代という年齢においての仕事の少なさ、来年も採用されるのかという不安。(女性)

・倒産後1年前に現職場に就職でき恵まれておりますが、母子家庭で高1と高3の子どもの学費(二人とも私立)や生活を考えると気持ちが暗くなります。子ども手当とは無縁な上、この先扶養控除がなくなるのと扶養手当の打ち切りも不安です。(40代女性)

・在日の特養の廃止。もちろん生活保護も、安易に与えるべきではない。一般の方と同じでいいはず。働け、都民に寄付しろ都民の税金だぞ!!(60代男性)

・仕事したくない。はたらく気がない。(50代男性)

・定年が来ても年金は当てになりませんので、何かで働かなくてはと思いますが不安ですね(家のローンもありますし)。(50代女性)

・地域のつながりが薄れてきている。(70代男性)

・借地権で20年たつとその都度更新料を高くとられますか?これは法律的に定められているのでしょうか?特に年金生活者にはきついです。(60代男性)

・宗教法人は課税すべきだ。(50代男性)

- ・政府、官公庁は自分だけよければ良いという考え、国民のことは全く考えていない。アメリカのマネばかりしている。(70代男性)
- ・働いても給料が安すぎて、買い物も、ろくにできない。また休みも少ない、会社側が残業代を抑えるため、残業代が減少。正社員にもなれず、かといって今は世の中が仕事減のため、転職すらできない。雇用状況が悪すぎる。(30代男性)
- ・定職がなく、アルバイトを掛け持ちしているが、家賃(1Rで7万)と税金で全てなくなり、生活費や、病院費は借金でまかなっていて、どんどん借金が膨らむ。庶民が一生懸命働いて、どうしてこんなに苦しい生活をしなければいけないのか……。
- ・税制について…政府は税金を取ることに視点を置いているように感じる。中小企業の経営の健全性や安定の視点から税金を見直してほしい(70代)
- ・先行き不安。(30代女性)
- ・仕事しても金くれない。(60代男性)
- ・子ども手当などのために扶養控除廃止となるようですが、子どもができない上に収入が低い家庭にも扶養控除廃止になるのは納得できません。労働基準法を徹底的に経営者に守らせてほしい。(30代男性)
- ・住まいの件ですが、8月末に現在入居しておりますところを出なければなりません。都営住宅に申込をしましても落選ばかりです。どうかならないでしょうか。毎日が不安です。どうしたらよいのでしょうか。(60代女性)
- ・失業しても税金は前年の所得から計算されるものがあるので支払が大変。
- ・年令が高くなるにつれ、仕事がなくなっている。若い世代も就職難であるが、外資の参入増加により、いい待遇面が外国に持って行かれてしまっている。日本人が自国で有意義に活躍できる基盤作りが必要。(50代女性)
- ・売れなくて収入が少なかった頃に払えなかった年金や住民税。一気に払えないが年金には時効があるため将来が心配。
- ・子どもが小さなうちは、自宅できちんと見てあげたいが、離れてしまうと職場復帰が難しいため、早期に戻らざるを得ない。産休を取ったの復帰でないと保育園量の補助金が下りず、保育料負担が大きいのしかかる。働きにでも保育料でほとんど手元に残らない。(30代女性)
- ・年金が少なく不安です。(男性)
- ・仕事を下さい。(男性)
- ・仕事をしたい日とすべてに仕事をさせてほしい、失業者にフリーパス券を下さい(交通費など)。(40代男性)
- ・住宅問題、大家さんから2年前から立ち退きを受けている。3年前から区の高齢者住宅に申し込んでおりますが、そのみの入居順番を待っている。都営住宅も7年間ぐらい申し込んでいたがなかなか当たりませんでした。(男性)
- ・暮らしについて……定年後は収入がないので、年金だけで暮せるだけの年金システムを考

えてください。(男性)

・次の仕事が見つかるのか、見つかっても倒産するのではないかという不安。前職が1ヶ月賃金未払いだったので次の職場を見つける際にも不安がぬぐえない。(20代女性)

・働き続けられるか不安。(40代女性)

・税金が高い。増額する年収を検討してほしい。(30代女性)

・資格があってもなかなか正社員に採用されない人たちがたくさんいます。働きたいのにその場所がない。このままでは日本滅亡です。(60代女性)

・孫の将来について。教育その他心配である。(男性)

・女性の男性字型を台形になるようにしてほしい。結婚、転勤のため、会社を辞めたら、その後正社員で見つからず、派遣で働かざるを得ず、派遣でいるが、スキルはあがっても、この不況で時給は10年前の金額に下がってしまった。しかも仕事はなかなか見つからない。年齢で採用を決めないよう、欧米のように履歴書に生年月日、年齢を書くのを法律で禁止してほしい。今度3月末で4ヶ月間の派遣契約が切れる。その後失業手当はもらえないし、仕事を見つけるのにまた時間があくかもしれず不安。(30代女性)

・福祉タクシー券は毎月同額だがタクシー代が上がったため回数を減らしている。(50代男性)

・業務の大変さからしたら給料が安いように思います。ギリギリで生活していますが家族を持ったらと思うと、とてもこの賃金じゃ生活できません。品川区特有の家賃補助や、単身、家族(若者向け)向けの生活助成制度や何かもととても希望します。(女性)

・大企業は仕事を丸投げしておいて、何か問題が起きると下の企業だけに責任を押し付け、マージンをとっている。大企業がなにも責任をとらないのが許せない。それならマージンをとるな!小さい工場はいつもいじめられている。なんとかして!!(50代男性)

・日本共産党は私たち生きる者のエネルギーです。期待しています。(男性)

・妊娠して仕事をやめなければならなくなった。妊婦でもこなせる仕事がほしい。国から妊婦への月単位の支給があればいいのと思う。(30代女性)

・先々景気不況で仕事がなくなるかも。(男性)

・世代間の格差により、若者が不安定な雇用を強いられることに不安を感じます。しかし、最低賃金の引き上げや、雇用規制の強化はかえって失業者を増加させてしまうと思います。医療やサービス業への労働力シフトや労働生産性の向上などを重点化した対策が望ましいと考えます。(30代男性)

・仕事はあるようだが、資金繰りに困っている。(女性)

・「国がなんとかしてくれる。そうあるべきだ」と考えるだけでは日本はよくなる。特に若い人は「自分が国や世界のために何ができるか」を勉学中から考えて技能を身につけるべきでしょう。(男性)

・うつを病んでおり、これを理由に業績に対する評価は一切せず、差別的地位に置かれ、仕事も次々に剥ぎ取られ、このままでは余剰人員としてリストラ対象となる。制度改正と称し

て4月から収入が大幅カットされる。(50代男性)

・子どもが大きくなるにつれ、教育費が必要だが、介護が必要でその両立に悩む。施設のあり方も今後変わっていくと思うが、高齢者が増加する一方対応を急がないと、高齢者があふれてしまうのではと心配。(40代女性)

・独身、子どもなし、持ち家なしの人間に対し一切手当てがない。他人の手当てのために少ない収入から税金を取られているのがまったく納得できない。自分が高齢化した際には大した手当てがでないのが予想されるため、仕事や生活のモチベーションがあがらない。(40代女性)

・年金で病院生活しありがたいのですが、介護保険がよくわかりません。(男性)

・仕事がない。収入もない。家賃も滞納している。もう生きて生きていけない。(30代女性)

・安易な雇用対策(介護などの拡張)では何一つ雇用情勢は好転しません。数少ないからと言って、これらの職業(専門性に高い)に失業者を数合わせで宛がおうとする魂胆丸見え!!(30代男性)

・仕事があっても給料が安い。やりたい仕事とはいえない。職がないまま年齢が上がって、職が増えても、年齢で正社員になれないことになると思うと、凄く嫌な時代に生まれたと思う。(30代女性)

・税金の滞納している分が払えない。平日に役所にいけないからいろいろ困る。(女性)

・仕事中、子どもが一人で留守番をしていることです。(40代女性)

・生活保護者より(年収が)少ないのはどうしてだろう。苦しい思いで積み立てたのに。(80代以上女性)

・税金等が高くなり、手取りが少ない。(80代以上男性)

・働かざるもの食うべからず!(男性)

・病気をしたらどうしようか不安。

・家賃(自宅、店舗)、更新料(自宅1ヶ月分、店舗2ヶ月分)の負担が大きい。(40代女性)

・仕事につけない。(男性)

・我々の世代は子どもが多い。それでもわが子は両親が育てたもの。今はねこも杓子も大学出して、金がないから人の金で病院へ行くとか、国の金はみんなの税金と知らないのか。そうして謝ること知らない。そんな子どもになぜお金をやらなければならないのか。世の中間違っている。白内障+緑内障手術で眼が見えず、ヒザ手術の身の上。娘に仕事ください!!(70代女性)

・生活に必要な出費が多くなっている。

・30代、20代の息子の世代の現役の仕事がない。親も生活苦で子どもの分まで補助できない。今まで続いた自公政治の大企業・金持ち優先の悪に騙されたため。

・リストラで人が減り、負担が大きい。(40代女性)

・公務員も下っ端は厳しいです。給与など下っ端は減らさないでほしい。有給休暇が取りにくい職場なのは皆がフルで働いても厳しいからです。育児・時短など子育てのための制度も

あるが、取ると収入が減ってしまい、生活できない。制度を作るだけでは意味ないと思う。子どもの育ちのためには親子の時間は大切なのに!!主人の所得がほとんどないので本当に厳しい!!自営業は続けるだけでも大変です。(女性)

・議員の数を減らす。歳費は 0、または少数の年金程度でよい。政治に金が必要というのが、いろいろな名目で政治の経費は支給されている。私的な生活費(歳費)は殆ど必要ないと思う。(70代男性)

・家賃、更新料、部屋の契約金などためられない。学生時代の奨学金の返済を返すほどの給与がなかなかいただけない。独身寮や社宅などで暮らせる方が羨ましいです。月々暮らすのがやっとです。あとは体調を崩しやすいこと。(30代女性)

・夫が鬱病でなかなか仕事が見つかりません。そんな家庭を助けてくれるような公的援助はないのでしょうか?(女性)

・年金が少なく、働かざるを得ない。(男性)

・デザイナー(服)の仕事を 30 年近くしていたが 50 代のデザイナーを雇うところがない。年齢制限がないというのはウソ!!50 代を雇うとその会社を優遇する等してほしい。(50代女性)

・以前、住民税を滞納して預金を差し押さえられたことがあるが、贅沢したわけでもなく、貧乏だったので払わなかっただけなのに、生活より優先して差し押さえが実行された。延滞金の利率もペナルティとはいえ高すぎる。公務員(特にデスクワーク、5 時以降は電話もとらない連中)の平均ボーナス 60 万強なんて許せない(一部の職種は、例えば危険な仕事ならいいと思うが)。自殺者 3 万人強の中に住民税トラブルの人も結構いるのではないか。「健康で文化的な暮らし」を役人が理解していない。(女性)

・労働時間が制限され、休日が多くなったこともあり、高度な技術を習得することができない。このままでは日本人の能力がどんどん低下する一方でとても心配である。(50代男性)

・警備業・清掃業・タクシー運転手等 1 日あたりの就業時間で拘束されるのが 10~11 時間。タクシーは 24 時間。支払われる賃金は 80 時間分、休憩 2 時間~2 時間 30 分というシステムだが拘束されている時間は特別給料も出ず手当てもない。営業主は本人・家族・身内は拘束なし 8 時間勤務、しかもボーナスあり。正社員と派遣に差がありすぎ。正社員等は上から目線で仕事もせずに口だけうるさい。(60代男性)

・もう子どもにもたよれなくて共倒れになってしまいそうで、生活保護申請を本日付で提出しました。年金もなくとても不安で夜もなかなかねむれない状態がつづいています。(女性)

・仕事もないし、生活保護を受けるつもり。(男性)

・バブル期の本質からかけ離れた考え方が国も企業も悪循環させてしまい、結果誰も救われない。(男性)

・海外に仕事が出ているため、(製造業)仕事が減ったのが心配。企業に対する税金を減らして日本にお金が入りやすいようにしてほしい。(30代女性)

・春から新たに仕事を替えたいが思う仕事なかなか見つからない。(60代女性)

・身体障害者を扶養しているので金がかかる。腰椎腫瘍の手術をして身体障害者となり、手

術をした医者のお話には失敗を認めない上に自称世界一を明言していたが知らぬふり。院長、理事長も失敗を認めず。(男性)

・のら猫にエサを与える人が近所にいます。猫はかわいいですが世話をするなら手術をきちんとする責任をもって与えてほしいです。近所のトラブルになっては困ります。(30代 女性)

・母子家庭のうえ、賃貸マンションに住んでいるので、年収 300 万以上でも厳しい。家賃を出さなくても良い家庭と、家賃を払っている状況と、不平等を感じます。(40代女性)

・ハローワークにはほとんど自身に合った職種、仕事がない。有名無実な感じを強く受けません。(男性)

・年齢差別が酷い。働きたいのに年齢を言っただけで断られる。(50代男性)

・バブル崩壊より酷い。(50代男性)

・70歳代でも仕事があるようにもっと経済をよくしてほしい。(70代)

・小学生までの子どもがいる従業員には泊りがけの仕事を命令することは禁止してほしい。人員削減で一人ひとりの仕事量が多く、それぞれが過労気味で、自分自身も健康面での心配がある。(女性)

・失業中にアルバイトをしましたが、賃金が支払われず、その上アシストで友人を同行していたため、友人へは借払いをして、結果仕事をして損をしたことになりました。相手の電話は通じないので連絡もとれません。(女性)

・収入が少ない。預金がない。(20代男性)

・失業者を甘やかすべきではない。失業者も角度を変えて見れば怠け者もいるはず。決して失業者を哀れと見てはならない。(40代男性)

・働いている人のほうが生活保護者より低レベルの生活で、病気になっても病院に行くことはできず我慢している。生活保障の人は生活費の中で病院に行くべきだと思う。税金を払っているのに生活保障以下でとても苦しい。(60代)

・子どもの教育。電車での通学とても危ないです。(30代女性)

・年金だけで生活している非課税世帯なので、非課税限度額をもっとアップしてもらいたい。現行の 700 万円から 1000 万円にしてほしい。(男性)

・仕事がなく、電車代等払えない。天下りで何回も退職金をもらった奴から取り戻してほしい。役人、議員の給料も高すぎる。どの政党も組合のあるところの味方。(男性)

・私の年代は仕事たくさんあります。親身に相談相手がほしい。苦勞ない人が多すぎます。(70代男性)

・固定資産税、所得税、社会保険料等が非常に高い。上場企業の税を上げ、国民の負担を減らす政策が必要。(男性)

・うちの子どもの失業し、あとが見つからない。(男性)

・年金収入は減るばかり。歯止めがきかない。これでは国のために積み立ててきたみたいだ。(70代男性)

・仕事がやっとでてきたのに材料の仕入れの資金等が思うようにいきません。保険等が遅れ

がちになっています。(男性)

- ・仕事の話が現在どこからもきていないので、今後は心配です。(男性)
- ・雇用保険は絶対。失業給付金にのみ使用すること。
- ・年齢制限で 66 歳の仕事がパートでも見つからない。電気主任技術者免許あり。(男性)
- ・派遣社員の期間が長くなり、定期的な収入がないので、将来設計ができない。(30 代女性)
- ・国の制度を変えない限り暮らしは楽にならない。
- ・何しろ忙しい。いろいろな仕事を並行してやっているが、最も収入の多い系や区職員の仕事をやめると生活が厳しい。しかし体がもたない。(50 代女性)
- ・製造業が大陸へ移っています。職場が減れば失業者が増大するのは当然です。(60 代男性)
- ・年金暮らしでも体は健康です。1 日 3~4 時間くらいのアルバイトでもいいから働きたいのです。もっと 60~80 代の仕事の募集広告を新聞に記載してほしい。(60 代男性)
- ・60 歳、あるいは 65 歳からの就職について不安。年金にプラスに安定した生活ができる程度の収入は得ないといけない。(50 代女性)
- ・通勤状態が劣悪。(往復 5 時間)(景気悪化のため事務所移転)転職したいが時間がない&当てがない。職を失うのがこわい。(20 代女性)
- ・一家の主である夫が倒れたりした場合、どんな困ったことになるか考えるだけでおそろしいです。(50 代女性)
- ・デフレを奪回すること。
- ・定年退職した 1 月は 18 日仕事しましたので税込み 18 万円ほど手取りにすると 15 万円ぐらいの収入となり 2 月 10 日に振込みがあります。それと年金が 4 万 7 千円 2 月 15 日に振込みがありますが、2 月中に職を見つけられないと 3 月は無収入となり雇用保険が利用できないために(定年の場合は打ち切り)生活苦は目と鼻の先に迫っています。
- ・仕事がないという人の中で甘えている人も多いのではないですか。本当に職を求めている人への支援は必要ですが周りを見ても、とても「働こう」と真剣に思っていない人も多いです。(50 代女性)
- ・昨年ハローワークに 10 数回通い会社との面接も 8~9 回行った。面接では良い反応が返っていても結果通知は全て不採用だった。以上を通して、採用側に対する不信感だけが強く残った。(30 代男性)
- ・会社がクビをちらつかせ給料カットを言ってくる。もうアルバイトと変わらず生活できません。
- ・歯科技工業を営んでいます。原材料、経費の高騰など物価の変動に関わらず、営業をしています。(値下げの要求はあるか値上げはできない)そのため、長時間労働によって生活を支えています。若年層の離職者も多く、将来担い手がいなくなるのではないかと考えています。
- ・仕事が見つからない。
- ・10 年後、20 年後、30 年後の年金はどうなるか。預金が十分でない場合、年金で生活して

いけるのか。(60代女性)

- ・「育児中」なので正社員になれません。残業ができず戦力になれないからです。(30代女性)
- ・86才になった母のことだけ心配です。
- ・失業保険の給付も判断基準も曖昧。説明会では厚労省の人間は税金とっている。よって、少ない金額でも保険料は徴収すべきではない。(60代男性)
- ・現在、家を担保に銀行から借りたいのだけど、なかなか親戚が委任状頼んでもしてくれない。1回死にたいと本気で感じた。
- ・年金生活で医療費、介護費で生活が苦しい。(70代男性)
- ・隣の家が崩れかかっているのですが市の行政は取り合ってくれないとのこと。私の部屋も地震が来たら、まともに直撃の恐れがあり都営住宅を2/1からはじまる抽選に申し込む予定ですが、優先的に取り扱っていただきたいと願っています。
- ・住民税が高い、固定資産税、所得と都内の生活費とがバランスしない。(30代男性)
- ・自分で健康管理をしなければ生きては行けません。(70代女性)
- ・老後に良い環境で暮らせるかどうか。1人暮らしの高齢者も困らないように適切にサポートしてくれる社会であってほしい。(40代女性)
- ・失業はしていませんが、夫の収入がどんどん下がり、現在、10万円くらいになってしまい、借金もできずに生活が苦しいです。何とかしなければと思っています。
- ・労働基準法も必要だが、あまり細かくなると人を雇用しにくくなる。本来は労使双方の信頼関係の上に仕事は成り立っていると思うから。
- ・家賃が高い。(日本全体が)親の遺産で不動産営業している人たちなどが格差を生んでいる。違法判決が出た後も、更新料が曲がり通っている。おかしい。家主にとって家賃が安ければ安いほど、税率が下がるなどの法律化が必要。
- ・去年の3月にパート先が、廃業、閉鎖、その後は無職、女房が具合悪く家事の手伝い中。
- ・自分たちだけではなく、身内が上記のような状態になれば周りのものも苦しくなり、借金を繰り返せばそれは、子どもたちにも大きな損失を与えてしまうことを考えています。
- ・女性、特に40代の女性は住みにくい。生きにくい。男性の給与がまだまだ高く、女性も主婦願望が強い人が多いため未婚の働く女性はしんどい、生きにくい思いをしている。(30代女性)
- ・住居費が高いので都営住宅の申し込みを20年くらい続けているが運がないので当たらないまま先行き不安を抱いたまま過ごしています。(60代女性)
- ・税金が無理。(40代男性)
- ・知人夫妻へ金を貸しましたが(630万円)自己破産されました。
- ・現在シングルで働いておりますが(64歳です)家賃が8万です。仕事をやめたら年金では暮らせません。安心して入れる公的な住宅を増やしてください。日本の住宅事情は海外から見ると悲観的です。(一部を除き)周りにはアパート生活者がたくさんいますので。(60代)
- ・定年制はないパートだが、健康であといつまで働き続けられるか心配。老後の資金を蓄え

たいが時給 1000 円でコツコツとためるしかない。(40 代女性)

・税金ばかりが増え、賃金は減り生活ができず田舎に帰ろうか悩む日々です。(30 代女性)

・年齢とともに重荷になる。(70 代男性)

・学校出入りの写真館、時代遅れの下手な業者ばかりです。しかし大田区や目黒区の業者だったりして品川区には優秀なフリーカメラマンがいっぱいいます。彼らを使う道を考えてください。(50 代男性)

・区民住宅ですがボーナスカットにより年収が 100 万ほど減り家賃がかなり負担です。家賃が年々上がるのはどうにかありませんか?(30 代男性)

・年金が少ないので定年後も働ける仕事がない。

・保険税金が払えません。(40 代女性)

・公的機構による融資、または保障制度(特に高齢者に対して)。(60 代男性)

・次の仕事が会社内で見つからない。(30 代男性)

・特殊な技術者の場合、仕事が無くなると転職が難しい。(50 代男性)

・子育てをしながらの仕事は難しいです。子どもから手が離れたら、安くても少しでも働くのは良いことだと思います。(40 代女性)